※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3035 |
|---|---|

# 令和５年度　（専門）英語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | 総合英語Ⅱ | 4 | 2 | Heartening Ⅱ(桐原書店)<br>必携英単語 LEAP (数研出版)<br>LOOP（啓隆社） |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語は「意思伝達に用いるツール(道具)であり、英語運用能力を身につけることで、将来国際社会で活躍するみなさんの世界と可能性を広げることができる」と考えています。英語を通して世界とつながる、ひととつながることを楽しみながら学んでほしいと思います。
覚えなければいけない単語や熟語の量が大きく増え、正確に自分の意見を伝えるためには文法、構文の知識を暗記することも必要になります。「英語は使うもの」という意識を持ちながらも、音読やディクテーションなどのトレーニングを継続して正確な英語の知識も入れていきましょう。正しい努力を継続すれば英語の運用能力は上がっていきます。

## 2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

| 領域 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと（やり取り） | 話すこと（発表） | 書くこと |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | ・自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスを聞いて、大切なポイントをもらさず概要を把握することができる。<br><br>・はっきりと話されれば、身近なトピックについての短いニュースの要点を聞き取ることができる。 | ・難しい部分を読み返すなどしながら、よく知っている分野の説明書や記事などを詳しく理解することができる。(100WPM)<br><br>・さまざまな分野のまとまった英文を読み、全体の筋を理解し、それに関する知識を得ることができる。 | ・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。<br><br>・自分のことや身の回りのことについて簡単な紹介や説明を求められても、即興で適切に応答することができる。 | ・社会的な話題に関して、聞いたり読んだりしたことについて、その内容をまとめるだけでなく、その話題に関する自分の考えについて発表することができる。 | ・身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎ語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をいくつか書くことができる。(200 語程度)<br><br>・身近な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを書くことができる。 |

## 3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

※令和４年度以降入学生用

| |
|---|
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 |

## ４　学習の活動

| 学期 | 課<br>“題材名” | 領域 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | Lesson1<br>Laughter without Borders<br><br>Lesson2<br>The Ongoing Voyages of Curry | 読むこと | a: 説明的文章の概要を理解している。<br>b: 対話文を通して登場人物の感情を読み取れる。<br>c: 読んで理解した内容をワークシートにまとめようとしている。 | 定期考査 |
| | | 聞くこと | a: 日本文化に関する英文を聞いて概要を理解できる。<br>b: インタビュー形式の対話文を聞いて、話し手の意図を理解できる。<br>c: クラスメイトのプレゼンを聞いてピア評価している。 | 定期考査<br>スピーキングテスト |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: 読んで理解した概要を説明できる。<br>b: 理解した内容を自分の言葉に言い換えて説明できる。<br>c: オーディエンスが理解できる表現でプレゼンしようとしている。 | スピーキングテスト |
| | | 書くこと | a: 関係代名詞を適切に使用して英作文できる。<br>b: インタビューした情報を整理して、記事を書くことができる。<br>c: インタビューした内容が読者にわかりやすくなるように記述しようとしている。 | 定期考査<br>提出課題 |
| | 中間考査 | | | |
| | Lesson3<br>The World’s Most Bicycle-friendly City<br><br>Lesson4<br>Can You Feel Emotions in Text? | 読むこと | a: 動名詞のきまりや作り方を理解している。<br>b: インタビュー活動に必要な情報を本文から取捨選択して捉えている。<br>c:インタビュー活動に必要な情報を捉えようとしている。 | 定期考査<br>観察 |
| | | 聞くこと | a: 新出単語や既習の文法知識を基に、英文を聞き取る技能を身に着けている。<br>b: インタビューを聞いて、要点を捉えている。<br>c:インタビューを聞いて、要点を捉えようとしている。 | 定期考査 |
| | | 話すこと<br>（やりとり） | a: 本課で学習する表現を用いて、インタビューで質問したり質問に答えたりする技能を身に付けている。<br>b: インタビューで質問したり、答えたり、相手の発言を繰り返したりしている。<br>c:インタビューで質問しようとしている、また質問に答えようとしている。 | インタビューテスト |
| | | 書くこと | a: インタビューした情報を整理し、新出単語を用いて書く技能を身に付けている。<br>b: インタビューした内容を整理して記事を書いている。<br>c:インタビューした情報を整理して、記事を書こうとしている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | 期末考査 | | | |
| 2 | Lesson5<br>Background Music and Sharks<br><br>Lesson6<br>The Benefits of Play | 読むこと | a: 強調構文の決まりを理解している。<br>b: 概要と詳細に分けながら本文の情報を読み取っている。<br>c: 概要と詳細に分けながら本文の情報を読み取ろうとしている。 | 定期考査 |
| | | 聞くこと | a: 新出単語や既習の文法知識を基に、英文を聞き取る技能を身に着けている。<br>b: リテリングに必要な概要情報を聞き取っている。<br>c: リテリングに必要な概要情報を聞き取ろうとしている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: 本文のリテリングを WPM７０でできる技能を身に付けている。<br>b: 本文を概要と詳細に分けて論理構成を工夫してリテリングできる。<br>c: 1 分間止まらずに本文のリテリングを続けようとしている。 | 観察 |
| | | 書くこと | a: 強調構文の英作文ができる。<br>b: 強調構文を使うべき場所を判断して効果的に用い、まとまりのある文章を書いている。<br>c: 教科書を見ずに本文のリテリングを 60～80 語で書こうとしている。 | 提出課題 |
| | 中間考査 | | | |
| | Lesson7<br>Nursing in a War Zone | 読むこと | a: 分詞構文の決まりが理解できる。<br>b: 文脈から判断し、分詞構文の文を適切に日本語訳できる。<br>c: 文脈から判断して分詞構文を適切に訳そうとしている。 | 定期考査 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | Lesson8<br>Hawaii's<br>Debate<br>about a<br>Sacred<br>Mountain | 聞くこと | a: 新出単語や既習の文法知識を基に、英文を聞き取る技能を身に着けている。<br>b: ディベートで相手チームの主張を理解している。<br>c:ディベートで相手チームの主張を理解しようとしている。 | 定期考査<br>ディベート |
| | | 話すこと<br>(やりとり) | a: 本課で学習した単語を用いて自分の意見を主張している。<br>b: ディベートで相手チームの意見に即興で反論している。<br>c: ディベートで相手チームの意見に反論しようとしている。 | ディベート |
| | | 書くこと | a: 分詞構文の文を英作文できる。<br>b: ディベートで立論するためにまとまりのある文章を書いている。<br>c: 立論するためにまとまりのある文章を書こうとしている。 | ワークシート |
| | 期末考査 | | | |
| 3 | Lesson9<br>The Next<br>Wave in<br>Artificial<br>Intelligence<br><br>Lesson10<br>What If<br>There Were<br>No Moon? | 読むこと | a: 名詞構文の文の意味を理解している。<br>b: 名詞構文の文を文脈に合わせて日本語訳している。<br>c:名詞構文の文を文脈に合わせて自然な訳にしようとしている。 | 定期考査 |
| | | 聞くこと | a: 新出単語や既習の文法知識 を基に、英文を聞き取る技能を身に着けている。<br>b: クラスメイトのプレゼンを聞いて内容を理解している。<br>c: クラスメイトのプレゼンを聞いて主張を理解しようとしている。 | 定期考査<br>プレゼン発表 |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: 本課で学習した単語を活用してリテリングしている。<br>b: AI に関する自分の意見を 2 分以内で論理的に話している。<br>c: AI に関する自分の意見を 2 分以内で論理的に伝えようとしている。 | プレゼン発表 |
| | | 書くこと | a: 適切な前置詞を使って本文のリプロダクションをしている。<br>b: AI に関するプレゼンの原稿を、論理を工夫して書いている。<br>c: AI に関する自分の意見を論理的に伝わるように書こうとしている。 | 課題提出 |
| | 学年末考査 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度